

第三標

極秘

電報

次長宛

第五航空軍參謀長

六三三〇〇發
三三〇一三著
三三〇一三〇四受付
三三〇一三〇〇提出

昭和一九、八、二三

日誌用

五航軍漢參電第五八二號

航空軍戰鬥概要（六月二十日）

第一飛行團及臨時飛行隊ハ悪天候ヲ冒シ引續キ旭集團地上作戦ニ協力拂屯地區ノ制空並ニ第一線兵團ノ指揮連絡搜索等ニ任ズル外飛行第六戰隊ノ一部ヲ以テ衛山北方面ニ於テ有力ナル敵部隊ヲ攻撃シ大ナル損害ヲ與ヘタリ 戰場雨、雲高五〇〇

シ

0359

軍機極秘親展

0725



極秘

電報

六三二一九三〇發
六三二二二二一著
六三二〇六四五提出

昭和一九六〇.二三

第五航空軍參謀

日誌用

通電先

五航軍參謀部
六月二十日
吉野飛行第九隊隊
特種支隊

五航軍參謀部
六月二十日
八三號

六月二十日
前機來機六四

一中支方面

(1) 十四時五分「B」二三機、彰澤ノ江上機ヲ銃爆撃セル

モ損傷ナシ

(2) 十八時四十分「P」四〇機「P」五一機「P」三三機「ト」機機場

新市及其ノ附近ヲ銃爆撃ス

示南支方面

十四時四十分「P」五一機「P」三三機「ト」機機場ヲ通過ス (終)

173

VS70

0726

軍機極秘親展

自
然
圖

0550

0727

極秘

電報

六三三三三三三三

六三三三三三三三

昭和一九、六、二三

第三報

通電先 次長、榮、旭
五航軍漢參謀部第九三號

第五航空軍參謀長

用

戰團概要（六月二十一日）

一、臨時飛行隊（飛行第六隊隊）ハ飛天ヲ冒シ幸トシテ成員佐郎
隊ノ殿陣ニ協力シ瀋陽ヲ奪取シ遼陽ヲ圍撃シ南方面二炸（炸）
近敗走中ノ目視的ハ〇〇ノ敵機隊部隊ヲ爆撃大ナル損害ヲ與
フ、更ニ八機ヲ以テ御山ニ進攻十一時二十五分ハ十三時四
十五分ノ間單機隊ヲ以テ遼陽城ヲ攻撃シ敵機隊ヲ爆撃
セリ

第一飛行隊及飛行第四十四隊ハ天候不良ノ爲待機シテアリ

二「ト」機隊場方、十二時前後蒙雨、雲高一〇〇、視度一乃

至二軒

南洋太平洋

◎マライン海地區日本軍ノ反撃ヲ退スト
(メルボルン・六月七日二二時四五)

二ノ二

・ニユールキニア島マライン海地區ノ聯合軍ハ日本軍ニ大損害ヲ與ヘテ其ノ反撃ヲ退シタガ日本兵ノ死者ハ一一一〇名、俘虜ハ一三〇名ニ達シタ、ハシヅ海地區ニ於ケル地上ノ戦局ニハ新シイ進展ハナイ、先ニコノ方面ノ深洲軍ハ日本軍トノ接觸ニカメテキルト報ゼラレテキル、尙ニユールキニア島及ビニユール・アイランド島ニ對スル空軍ハ悪天候ニヨツテ制限サレタガラバウルニ對シテハ復々攻撃ヲ加ヘタ

0729

8880

極秘

電報

昭和一九、六、二三
六三三二一〇〇發
六三三〇一〇〇著
〇九二〇〇發出
第五 航空軍參謀長

第三

用

五月二十一日敵機來襲狀況

通電先 次長、航本、第一、第二飛行團、吉井、飛行第九戰隊、加加美

中支方面

A 情ニ依レバ桂林及零陵ヨリ「機」一ト「機」戦場方面ニ出撃シアル
如キモ詳細不明ナリ

北支方面

(1) 十二時三十四分大型機二機芮城（遷城西南方約四〇軒）ニ進入ス

(2) 十三時四十五分小型機一機蒲州偵察

南支方面

五時十六時十分ノ間「B」三四機西州島上ニ出現ス

西岸通過



第五七六二號 外國放送傍受情報

(第四班分室)
昭和一九・五・一〇

第十報

短 波 北 部 太 平 洋

◎北千島攻撃四週間ニ二八回ト宣傳

(榮港・五月九日二一時一五)

放送
： 四月十一日以降四週間足ヲズノ間ニ千島ノ目標地區ニ對
シニ八回ニ及ブ攻撃ヲ加ヘタガ、昨年九月以來米空軍ハ此ノ
方面攻撃デ一概モ喪失シテキナイ

0731

極秘至急

第 二 課

日誌用

電報

昭和一九二六
六二二五
二八五著六二二九三
三三〇四〇提出

五航軍漢參電第五一九號

航空軍戰鬥概要(六月十七日及十八日拂曉)

一 第一飛行團主力及臨時飛行隊ノ全カヲ以テ晝眉ヲ
攻撃(ニ語不明)

船團掩護ニ任スルト共ニ第一飛行團ノ一部ヲ以テ麗水
五山飛行場ヲ攻撃セリ

(1) 飛行第十六戰隊ハ双輕九機ヲ以テ麗水(二四〇〇)ニ
双輕五機ヲ以テ五山(一三五六)ニ夫々進攻飛行場
滑走路ヲ火網ヲ以テ捕捉爆破シ該飛行場ノ使用ヲ
拘束セリ

(2) 飛行第三十五戦隊ハ戦場上空制空[?]ヲ船團掩護ニ任ス

一式戦闘機六機ハ十時二十四分長沙上空ニ於テP₁₄六₁₇機ト交戦内一機ヲ撃墜セリ

又別ニ船團掩護中飛行第四十八戦隊一式戦闘機六機ハ十三時五十五分湘陰附近ニ来襲セルP₁₄ P₁₅二機ヲ発見攻撃シ之ヲ遁走セシメタリ

(3) 飛行第九十戦隊(双軽一七機)ハ本十八日早朝飛行第四十八戦隊(一式戦闘機一七機)ノ直前ノ下ニ七時十三分糸薨山東南天洋山陣地ニ全彈ヲ命中セシメ之ヲ爆碎全機無事返還ス

二臨時飛行隊ハ第一飛行團ト緊密ナル協同ノ下ニ旭集

團ノ地上作戦特ニ健部隊ノ戦闘ニ協力拂曉以降敵
次ニ直リ釜麓山周邊ノ敵重要陣地及巫山軍事施設ヲ
既設陣地ヲ爆碎シ甚大ナル損害ヲ與ヘタリ

(終)

第三課

機密

電報

六二四

一七〇〇發
一八一三著

六二四一八五〇受付
二五〇五五〇提出

昭和一九、六、二五

日誌用

道電先

次長、甲、旭、第一、第三飛行團、吉井、獨立第五、第百十、教育飛行團、司、高、八〇〇、垣、波、臺灣軍、威

五航軍漢參電第六一一號

敵航空狀況（六月二十二日）

一 東南支那方面敵空軍ハ二十二日夕陽燦一九〇機（偵六、偵一、二九、爆五五）内外ト別斷セラレ遂川、零陵、桂林及芷江等ニ配置シ主力ヲ以テ「ト」ヲ演習妨害ニ努ムルト共ニ一部ヲ以テ東南支那海及江上艦船ノ攻撃ニ任ジアリ

演習方面ノ出隊ハ依然然烈ニシテ一日最高延一〇〇機、一〇機回ニ及ビ重慶側ト米蘭ノ指揮所盤トハ警備ニ連環ヲ保テ陸ハ地上直防ヲ實施シ特ニ湘江方面ノ艦船攻撃ニハ最大ノ努力ヲ傾注シアリ、演習ノ進展ニ伴ヒ本二十二日衡州飛行場ノ敵

機ヲ開始セルモノノ如キモ新機及戦州へ大型使用可能ノ飛行
 場ノ工事ハ依然トシテ督勵シアリテ繰返ヲ要スルモノアリ
 二 西北支前線方面ニ於テハ賊機一三五機（重慶側、賊機機三七
 他ハ米側「B」二五「二六」賊七二）内外ト判断セラル
 主トシテ「C」號演習方面ニ一部ヲ以テ「ト」號演習方面ニ
 對シ出隊ニ任ジアルモ禾ダ遊撃的出隊ノ攻ヲ脱セズ、同方面
 ノ米軍軍ハ中米飛行機主力及第三一二戰團飛行隊ノ一部ナル
 モノノ如シ、他ニ第五一戰團飛行隊ノ一部北上シアルヤノ疑
 アリ
 三 敵ハ新々々々演習ノ重大性ヲ察知シ遂ニ貴陽、芷江方面へノ
 轉進ヲ準備シアルモノノ如キ徵アリト雖モ黨ニ米軍ハ重慶側
 ノ長沙附近ヲ襲撃シ又賊機ヲ敵ニ夜間誘行勅ノ工事續行ヲ督
 勵スルト共ニ撤退準備中ナリシ軍機工程處ニ對シ之方撤退ヲ
 禁止シ更メテ工事費約二億元ヲ交付シアル等（A 諜者）ヨリ
 桂林及遂川、贛州地區等ノ賊力統合シ抵抗ハ依然強力ニ遂行

セラルベシ
又新城、建廠、麗水等急選ナル整備ノ状態ヨリ見テ敵ハ軌
ニ我ガ本土空襲ノ機ヲ窺ヒアルモノナルコト明カナリ
尙北支方面ニ於ケル敵ノ進軍の出展ハ漸次増加シアリテ昨二
十二日四時七分一機保定唐山附近ニ飛來ス
敵ノ滿鮮方面ニ對スル積極的企圖ノ兆ヲラズヤトモ判断セラ
ル

2

(終)

8830

181

0737

至急極秘親展

0738

8850

第三報

機秘

日誌用

電報

次長宛

六二四〇八二五號

第五航空軍參謀長

昭和一九六二五

五航單漢參電第六〇六號

六月二十二日 中北支方面敵機來襲狀況

一 中支方面 A 情報ニ依レバ

十二時三十六分—十八時四十二分ノ間

三次ニ互リ「ト」號 戰場方面ニ出撃シアリ

二 北支方面

(1) 九時五十四分 四發一機 保定附近ヲ

北進 十一時 唐山上空ヲ北ニ飛去ス

(2) 十二時二十三分 「P」四〇〇 「P」五一五機

十三時四十分
小型機七機
邸城附近
爆撃す

(終)

0740

133

表紙

用誌用

電報

昭和一九六〇年六月二日

大東航空機

第一〇三〇番機

第五航空隊 隊長

通電先 陸軍、航空、総務課下指揮下関係部隊

五月二十六日

六月二十三日敵機襲撃状況

中支方面、A情ニ依シバ

八時十分、
五二一、一五、他不明、
一三五、一〇、P、四〇、不明、
内、零陵ヨリノ出陣ハ「ト」機隊場方ヨリナルガ如シ

二南支方面
十五時三十五分、「P」三八、三三、三二、
三飛来ス

三臺灣方面
十五時三十九分、「B」一三、一四、
(襲撃情報第四八一號)

134

0741

第三號

極秘

誌用

電報

六三三
一三三〇機
一五二五機

六二四
二六〇六〇機
二六〇六〇機

昭和一九、六、二六

次長 堀

第五航空軍 司令部

五航空軍司令部第六〇五號（電話一部未詳ナルモ野田六開カ）

航空軍機要圖概要（六月二十二日）

- 一 臨時飛行隊（飛行第六隊、飛行第十四隊）ハ依然惡天候ヲ冒シ主トシテ機及機部隊ノ戰闘ニ協力シ指揮、連絡搜索等ニ當ズル外早朝小楠港（湘郷南々東約三五軒）附近ニ於テ潜伏中ノ有力ナル機部隊ヲ燃燬數箇所ヲ燃燬セリ
- 二 第一飛行團ハ天候不良ノ爲待機セリ
- 三 機隊ハ雨雲高一〇〇—二〇〇米、視程一軒（電燈、以下未著）

極秘

日誌用

電報

六二五 二二〇五發
二二五七著 六二六 〇二〇〇受付
一四三三提出

昭和一九、六、二六

第五航空軍 參謀長

通電先 次長、支總、航本、第一、第二飛行團、飛行第九戰隊 加加ミ

五航空軍參電第六三五號

六月二十四日敵機來襲狀況

一 中支方面

(1) 九時二十分「ト」號戰場佐部隊正面ニ敵機來襲銃爆撃ス

A情報ニ依レバ他ハ三次ニ五リ(十二時二十五分-十三時三十六

分)間「P」四〇「八」機、「P」三八「四」機以上(戰場方面ニ出

襲ソアルモノノ如シ

(2) 十四時四十分「B」二五「一機」「P」四〇「四機宜昌ニ來襲ス

損害ナシ

(3) 二十時十分「P」四〇「二機沙市上空ヲ旋回後東方ニ飛去ス」内

一機ハ二十時四十分白蟻機ニ著陸臨順シ來ル（操縦者支那人）

(4) 二十三時七分「二十四時二十分ノ間」「B」二四「一六機單機毎ニ

武漢地區ニ進入爆撃ス、軍事施設ニ被害ナシ

ニ北支方面

(1) 十六時八分「P」四〇「一〇機」「B」二五「四機霸王鏡橋梁ヲ爆

撃、十六時二十九分洛陽附近ヲ銃撃ス、損害甚大（洛陽附近）

梁ノ一部破損、自動電車一炎上（洛陽附近）

(2) 十七時三十一分「P」四〇「四機蒲州上空ヲ旋回後西方ニ飛去ス

（終）

第三課

極秘

日誌用

電報

長宛

五航軍漢參電第六三九號

第五航空軍參謀長

六二六一一三〇號
一五二七號
六二六一六〇〇受付
六二七〇七〇〇提出

昭和一九、六、二七

航空軍戰闘概要（六月二十五日其ノ一）

一 第一飛行團戰爆一八機（飛行第四十八戰隊一三、飛行第十六戰隊五）

七時四十五分―七時五十五分ノ間悪天候ヲ囿シ白鶴舖（衡州西南約

四〇杆）西方約一〇附近ノ鐵道橋ヲ爆撃シ鐵道上ニ直撃彈三發ヲ命

中セシメ之ヲ爆撃ス。又別ニ戰爆一九機（飛行第二十五戰隊一四、

飛行第九十戰隊五）ヲ以テ江陵橋（來陽南方約一〇杆）附近ノ鐵橋

爆撃ヲ企圖シ進攻セシモ天候不良ニシテ攻撃スルニ至ラズ

二 臨時飛行隊ノ飛行第四十四戰隊ハ本二十五日主力ヲ以テ衡州ニ進攻

シ市街軍事施設埠頭敵兵舎停車場遊ニ敵密集部隊ヲ爆撃何レモ大

ル損害ヲ與ヘタリ。主ナル戦果左ノ如シ

撃碎セル敵兵力約五〇〇、兵員資材滿載舟艇三隻大破、停車場埠頭

敵兵舎遊ニ市街軍事施設ヲ直撃シ依リ爆撃ス

（終）

日誌
極秘
用

電報

六二七〇
一一三〇
六二七
一一三〇
一一三〇
提出

昭和一九、六、二七

次長宛

第五航空軍參謀長

五航空軍演習第六五三號

航空軍機関概要 (六月二十六日其ノ一)

一米空軍ハ約四〇機前後 (内五一六機爆撃機)ヲ零隊ニ推進シ

一ト一機戰場地區ニ漸動シアリ

軍ハ第一飛行隊機關隊ノ主力ハ飛行第二十三隊二五機 飛行

第四十八隊隊一八機)ヲ以テ戦場ニ進出 飛行第四十八隊隊ハ

十一時十五分ヨリ約二〇分間高度一〇〇〇一五〇〇ニ於テ

戰機四機 (P-40) (P-51) (三十枚機ト戰闘ヲ交ス

撃墜「P-1」四〇機（内不確實一）撃破「P-1」五二機ノ
戦果ヲ收メタリ

我々方自爆未帰還各一機 飛行第二十五戦隊ハ高度五〇〇〇
六〇〇〇米ニテ進入セラル敵機ヲ遺棄スルニ至ラズ全機無事歸
還セリ

二日ハ本二十六日夜間更ニ輕爆隊ヲ主力ヲ以テ零陸飛行場ヲ攻撃
在敵機ノ捕獲機ヲ企圖シタリ

（終）

0747

100

第三課

極秘

電報

用之

長宛

第五航空軍參謀長

五航軍漢參電第六四八號

航空戰闘概要（六月二十五日其ノ二）

一 第一飛行團ハ依然戰場地區ノ制空ニ任ス

飛行第二十五戰隊一戰八機ハ十二時十分頃衡州飛行場上空ニ於テ飛

行第六戰隊ノ攻撃ヲ掩護中「P-1四〇」一二機ト交戦シ機墜破セリ

二十五時二十分前後「B-1二五」六機「P-1四〇」一「P-1五一」十機

機鄭州及霸王城附近ニ來襲セリ

飛行第九戰隊ハ二戰七機ヲ以テ前項敵機ヲ邀撃熾烈ナル戰闘ヲ交ヘ

六二六一九五〇發
二一〇八
六二六二二〇〇受付
二七〇八三〇提出

昭和一九、六、二七

左ノ戦果ヲ收メタルモ我ガ方モ亦未歸還三機ヲ出セリ

撃墜「B I 二五」一機（不確實） 「P I 四〇」三機

臨時飛行隊ハ悪天候ヲ冒シ旭集團ノ地上作戦特ニ佐部隊ノ萬縣突進

ニ密ニ協力セリ

飛行第六戦隊ハ未明倭縣攻撃ヲ企圖シ進攻セルモ濃霧ヲ爲進入シ得

ズ攻撃ヲ斷念シ爾後主力ヲ以テ飛行第二十五戦隊直衛ノ下ニ衡州東

南敵地上部隊ヲ爆撃甚大ナル損害ヲ與ヘタリ

本攻撃ニ於テ飛行第六戦隊一機未歸還、飛行第四十四戦隊ハ曉天ヲ

衝テ長沙飛行場ヲ使用萬縣及潭市南側漣水上ノ敵舟艇ヲ攻撃セル外

（既報）夕刻一部ヲ以テ達摩山ニ據ル敵主兵約二〇〇ヲ撃碎健部隊

ノ戦鬪ヲ有利ナラシメタリ

（終）

展
開
秘



極秘至急

日誌用

電報

次長宛

五航軍演習第六六七號

六二八〇三四〇機

第五航空軍參謀長

昭和一九、六、二八

航空軍演習演習隊第六六七號

第一飛行團ハ晝間敵機ハノ攻撃ニ引續キ夜間襲撃隊主力ヲ以テ

襲撃飛行場ヲ攻撃セリ

(1) 双戰機一三機ハ飛行第十六隊隊七、飛行第九十隊隊六〇ヲ以テ

十九時三十五分ヨリ逐次武蔵野演習場附近ノ無天候ヲ冒シ零

陵飛行場ニ進取三十一時四十五分一二十三時五分ノ間敵機ノ遺撃

ヲ排除シツツ飛行機墜留地盤ヲ火網ヲ以テ拵提揚碎シ炎上小型

一機破壊、小型二機、燃料倉庫等ハ留所炎上ヲ確認セリ

其ノ他ノ成果ハ夜暗ハ消滅、九ノ爲詳細ヲ確認スルニ至ラズ

我方一機未墜還ハ飛行第九十隊隊目下捜索中

(2) 飛行第二十五隊隊、飛行第四十八隊隊ノ全部零撃ニ進取キル外

ハ既報ニ引續キ「ト」機墜場地盤ニ燃焼セル敵機ノ遺撃ニ任ズ

飛行第五隊隊員一式隊員機二機、十八時前後魯沙真南約二〇
軒上空に於て「P-1四〇」「P-1五〇」「〇機内外ト交戦シ「P-1
五一」二機ヲ撃墜セリ。我方方全機無事

(8) 飛行第十六隊隊員一式複座隊員機二機ハ夜間武漢地區ニ來襲セル敵機
ヲ遼寧内一機ハ「B-1二四」二機ヲ捕提シ一機ニ有效弾ヲ與ヘ他ノ
一機ニ白煙ヲ吐カシメ撃破セリ

臨時飛行隊 飛行第四十四隊隊員ハ第一線各兵團ノ職團ニ直接協同セル
外拂隘主力ヲ以テ衡陽ニ進取隊主陣地ヲ襲撃スルト共ニ鄭州(衡
陽東南二五軒)停車場及鐵道施設ヲ襲撃粵漢線ノ軍事輸送ヲ遮断セリ
又別ニ一部ヲ以テ石潭附近滬水江上隊ノ舟艇ヲ攻撃シ四隻大破四隻
中破セシム

飛行第六隊隊員廣都隊ニ對スル物料投下ヲ實施セリ
在徐州飛行第九十隊隊員ノ双機三機ハ杭州ニ前進シ登樂岡ノ地上作
戦ニ協力シ大州鎮(衢縣東南約一四軒)ヲ襲撃セリ

(接)

0751

194

極秘

電報

日誌用

六二七、一五三〇、
一七三四、
第 五 航 空 軍 參 謀 長

六二七、一五三〇、
一七三四、
昭和一九、六、二八

通電先、次長、支總、航本、第一、第二飛行團、飛行第九

戰隊、加々美、甲第八百部隊

五航單漢參電第六五〇號

六月二十五日敵機來襲狀況

一 中支方面

(1) 十二時十分—十九時ノ間確認セルモノ四回延二

八機(B1155)他P140)ノ號戰場方面ニ來襲

(2) 十三時十五分—十八時五十六分ノ二次ニ互リ延

一三機(B1155)他P140)宜昌方面ノ第一線陣

地ヲ銃爆撃ス

(3) 十七時五十三分 - 十八時五十一分ノ間「P14」
五機信陽 - 安陸 - 荊門通過ス

六、北支那二十三日

(1) 十四時四十五分「P138」型一機古冶(唐山東北三

〇料)附近ヲ偵察ス(甲集團情報)

(2) 十五時二十分「B125」六「P14」一〇機霸王城附

近ニ進入我ガ邀撃ニ依リ撃墜「B125」一(不確實

三)

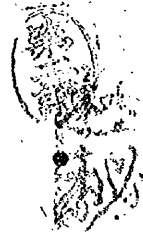
三、臺灣方面

二十二時十七分 - 二十二時四十七分ノ間敵機

(「B124」機数不明)高雄 - 臺南 - 澎湖島方面ニ進

入文(臺灣軍情報)

(終)



電報

六二八 一七〇〇號 六二八 一七〇〇號 提出

昭和一九、六、二九

次長宛

第五航空軍參謀長

五航軍演習場第六分場

六月二十三日 概況

一 航空方面

(1) 十一時四十分一十八時三十分間 演習場第六分場 航空隊の飛行機二機が、P-15の飛行機と遭遇し、P-15の飛行機はP-15に撃墜された。

（一）三二五二一三機は「P-15」に撃墜された。

演習場方面に於いて、P-15の飛行機はP-15に撃墜された。

(2) 十三時十六分一B-15機は、P-15の飛行機と遭遇し、P-15の飛行機はP-15に撃墜された。

197

0754

(0) 十五時四十分「P-1三八」一機、武漢上空偵察

(4) 十八時十五分「P-1四〇」一機、宜昌方面第一線陣地ヲ偵察

(5) 二十三日二十時四十分「B-1三四」一機、單機ニ武漢地區ニ進

入、鄂陽方面偵察ニ依リ、宜昌方面偵察ヲ行ハシ、軍事情報ヲ得ル

(6) 二十三日十九分二十時三十分「B-1三四」一機、沙市安陸宜昌地區ニ於テ

偵察ヲ行ハシ、内一機「B-1三四」ト推定シ、安陸方面偵察ヲ行ハシ、

ニ北支方面

(1) 九時三十分「P-1四〇」一機、唐山、林西地區ニ進入（甲集團報）

(2) 九時十分「P-1四〇」一機、蒲州上空通過

ニ南支方面

十五時四十分「P-1三八」一機、榆林地區偵察

(注)

陸軍

機務

日誌用

電報

通電先次長、航本榮

昭和三十九年六月三日
六八三六發六夜二二五五機付

第五航空軍參謀長

五航軍漢參參謀第六七七號

六月二十七日敵機來襲狀況

一、中支方面

(1) 九時三十分—十八時十分、間確認七〇七ノ

七回延四九機以上、ト山號戰場方面ニ

來襲

(2) 十一時十九分P1—五—五機沙市銃爆

襲手

(3) 十二時五分單發五機郝穴上空ヲ北進

19801

0756

二臺灣方面

- (1) 十一時五十分前後不明機臺北附近侵入
(臺參情)
- (2) 十二時四十分前後敵機安平(臺南)北西五料
海上(秋元)我艦團ヲ攻撃ス(臺參情)
- (3) 十二時五十分、Bト二西一機臺南高雄
方面ニ近接ス(臺參情)

(終)

2650

0757

19892



特報 緊急

電報

六月二十八日發

六月二十八日受

昭和一九、六、三〇

次長 宛

第五航空軍參謀長

五機隊海軍第六八六部

航空軍隊面取報（六月二十八日）

一第一航空隊ハ其ノ戰鬥隊ノ主力ヲ以テ倭然來襲敵機ノ遺棄敵ニ

船団掩護ニ任ズ

飛行艇十八隊隊一式機隊機一五機ハ十時頃洞陽市（永安市東

方約一〇軒）上空ニ於テ北灣中ノ「P-1」四〇「P-1」五「P-1」

十機機「P-1」二五「P-1」六機ヲ發見其取ナル遺棄機隊ヲ交ヘ「P-1」

「四〇」一機ヲ擊墜セリ。我方方全機無事

尙飛行第十六戰隊ノ一部（双翼艇六機）ヲ以テ早朝獨立歩兵

第十一旅団ノ戰團ニ協力シ敵司令部所在地タル洛陽府（開縣南

方約三〇軒）及「カンソウテン」（洛陽府西北方約一〇軒）ノ

敵密集部隊ヲ燃焼セリ

ニ臨時飛行隊（飛行第十四戰隊）ハ引續キ無敵國各兵團ノ指揮

連絡、敵情探察及物資投下等ニ任ズル外拂曉一部ヲ以テ衛陽攻

略ニ協力シ敵營區ノ障礙地及城壁ニ墜ル守兵、敵兵舎等ヲ燃焼大

損害ヲ與ヘタリ

ニ（三語不明）集団攻勢發起ニ伴ヒ同集団ニ對スル協力ヲ開始シ十

七日以降飛行第十四戰隊ノ一部（艇七機）ヲ以テ晝天ヲ冒シ

敵情及地形偵察指揮連絡等特ニ（一語不明）兵團戰團ニ協力シ其

ノ進撃ヲ容易ナラシメタリ



極秘至急

昭和一九、六、三〇

日誌用

電報

六二八

一九一三發
二〇二六著

六二八ニ三〇〇發行
三〇〇三〇〇發出

次長宛

第五航空軍參謀長

五航空軍參謀第六七一號（電註、一部未著再電要索中ナルモ配布ス）

航空軍戰鬥概要（六月二十七日）

- 一 第一飛行團ハ引續キ戰鬥隊ノ主力ヲ以テ「ト」線戰場地帯ニ來襲セル敵機ノ邀撃並ニ船團掩護ニ任ゼリ
- 二 臨時飛行隊ハ旭集團ノ萬縣ニ對スル包圍圈區縮ニ密ニ協力ス 飛行第六戰隊ハ拂曉及薄暮ノ二次ニ亘リ主力ヲ以テ萬縣ニ進攻シ東南城壁及敵陣地並ニ市街軍施設ヲ爆撃シ十數箇所ヲ爆碎セリ
- 飛行第四十四戰隊ハ各兵團ノ指揮連絡搜索及物料投下等ニ任ズル

外拂嶋一部ヲ以テ衡州ノ敵主陣地ヲ爆撃シ大損害ヲ與ヘタリ

三 飛行第九十戦隊ノ一部ハ益力ヲ舉ゲテ登萊國ノ地上作戦ニ協力シ

双輕爆二機ヲ以テ十一時常々(瀋陽西方約三〇浬)ニ進攻シ軍事

施設ヲ爆碎セリ

(電註、以下未著)

極秘

電

報

誌用

通電先

次長

支總、航本、第一、第二飛行團

飛行第九戰隊 加加美

五龍聖參電第六八七號

六月二十八日敵機來襲狀況

六中支方面

八時五十分、十八時五十四分、間、確認セルモノ、八回

延八九機 (B1五型) 一、他ハ P1四ロ P1

五(一) 二十時桂林ヨリ P1號戰場ニ來襲

(以下不明) 特情ニ依ル襲撃 P1四ロ 一

六南支方面

昭和一九、七、一

六九、三三〇發 六九、三四〇受付

第五航空軍參謀長

0762

203

三十三册五十九分
三十三册十二分
三 (三不崩) 島
香港附近 爆音 (B1 西) 推定) 音取
(音)

214

0763

極秘至急

電報

通電先

次長、榮旭、波

第五航空軍參謀長

五航軍(南京)吉井

五航軍參謀電第七〇二號

航空軍戰鬪概要(二月二十九日)

一、第一飛行團戰鬪隊ハ依然戰場上空ヲ制シ來

龍衣敵機ノ激撃ヲ相陰附近ノ船團掩護ニ

任セリ

飛行隊四十八戰隊一戰一四機ハ十八時四十分

一十九時ノ間衡陽上空ニ於テP1四〇〇、P1五二

二〇機ト交戦P1五二一機撃墜、三機

撃破セリ

昭和一九三七

六言、三三、五發、六言、三三、四、五、提出

我が方 一機 (大田伍長 少年飛行兵第十期)
敵機 一機 體當落下傘降下セル外未歸還

機出セリ

二 臨時飛行隊 (飛行第六戰隊、飛行第四十四戰
隊) 八機 南 集團 地上作戰ニ協力シ主トシテ第一
線ノ兵團ノ指揮連絡、敵情搜索及物料補
給等ニ在セリ

三 第三飛行團ハ 飛行第六十五戰隊ヲ以テ旭集團
ノ地上戰鬥線ニ渡河點上空ハ制空ニ 飛行第
四十四戰隊ノ一部ヲ以テ同集團作戰ニ直接協力
セリ

四 五 航空偵察隊第六四八號 (電証 脊字七百配布)
ニ依ル者ニ于テ五日 萬縣 攻撃時飛行第六戰隊

未歸還機其後「巴東」北方約八料附近ニ不時
着ノ池田大尉機(機體大破搭乗者輕傷)
ハ地上部隊ニ收容セラレアルヲ判明セリ

(終)

297

Y839

0766

至急秘親展

0870

0767

7151

南支方面

(1) 十九時十四分、我機二機、南支方面飛行場上空ヲ西北ニ飛去ス

(2) 二十一時三十六分、廣東、石龍附近ニ向ヒ爆音(一、二、三、四)

推定スヲ聽取ス

臺灣方面

(1) 十四時五十八分、P-1三八一機、高雄上空ニ進入ス(懸察中)

(2) 二十三時五十五分、敵機ハ基隆北方約二五〇海里上ノ我方ト口

トルニ接近シ一時三十分前後、高雄澎湖島方面ニ近接ス(懸

察中)

(終)

209

0769



電報

七五〇〇三〇發
七五〇〇〇〇著
七五〇〇〇〇受付
七五〇〇〇〇提出

昭和一九、七、三

次長宛

第五航空軍參謀長

五航軍漢參電第七三三號

航空軍戰團概要（七月一日）

一 第一飛行團ハ依然戰團隊ヲ以テ「ト」號戰場上空ヲ制シ臨時飛行隊ヲ飛行第四十四戰隊ハ拂國萬縣ニ進攻シ佐部隊正副ノ敵意火器障地ヲ爆碎スルト共ニ鹿岩佐志摩及針部隊ノ戰團ニ直協指揮連絡及敵情搜策等ニ任ゼリ、飛行第六戰隊ハ主力ヲ以テ戰團隊ト協同萬縣攻撃ヲ企圖進攻セルモ長沙以南雷雨ノ爲不能ナリ

二 第二飛行團ハ戰團及直協隊ヲ以テ戰場上空ノ制空竝ニ（電雷、六語不明再電照會中）兵團ノ戰團ニ直接協力セシムル外襄陽及輕爆隊ヲ以テ二次ニ亙リ「虎シユン嶺」（曲江南京約三五軒）ノ敵障地ヲ爆碎、北安方面（二語不明）掩護竝ニ爾後ノ行動ヲ

210

0770

容易ナラシメ更ニ一部ヲ以テ清遠附近ノ敵兵舎ヲ爆撃セリ

米國副大統領「ウオーレス」搭乗機ハ六月三十日重慶出發十四

時二十五分蘭州ニ到着セリ

置ハ前項情報ヲ知り直チニ偵二機「夕」型裝備一ヲ以テ之

ガ攻撃ヲ企圖セルモ飛行基地一帯天候不良ノ爲攻撃スルニ至ラ

ズ

尙前項「ウオーレス」搭乗機ハ本日九時空路蘭州發進化ニ向

ヒ出發セリ

四 敵日來戰場及飛行基地一帯天候不良ニシテ地上部隊ニ對スル協

力ハ相當拘束セラレツツアリ

(終)



極秘緊急

昭和一九、七、四

電報

七四〇二二〇發 七四一〇〇〇受付
〇八五〇著 七四一〇三〇提出

誌用

次 要 宛

第五航空軍參謀長

五航軍漢參電第七四〇號

五航軍戰團概要 (七月二日)

一、第一飛行團ハ戰團隊ヲ以テ「ト」號戰場方面ノ制空湘江江上ノ
 船團掩護並ニ衡州攻擊部隊ノ直援等ニ任ズルト共ニ夜間輕爆
 隊ヲ以テ衡陽ヲ攻撃セリ

双輕一一機(飛行第十六戰隊六機、飛行第九十戰隊五機)ヲ
 以テ二十三時一二十四時八分ノ間單機毎ニ衡州ニ進攻シ暗夜
 ト惡天候(衡山以南雲高四〇〇、一〇四〇)ヲ冒シ主トシテ市
 街中樞部ヲ爆碎炎上セシメ又別ニ飛行第十六戰隊双輕三機ハ
 前項攻撃ニ連繫シ衡州南側ノ地上部隊ニ對シ爆彈投下ニ任ジ
 何レモ全機無事歸還セリ

ニ臨時飛行隊ノ飛行第六戰隊ハ旭集團ノ衡州攻略ニ協力シタリ

主力ヲ以テ敵部隊直撃ノ下ニ十九時十九分衛陽西北方及前部ノ
敵據點ヲ爆撃シ十枚箇所ヲ炎上セシム

飛行第四十四戦隊ハ早朝成兵團當面ノ敵部隊ヲ爆撃スルト共ニ
爾後第一線各兵團ノ戦團ニ直接協力セリ

第二飛行團ハ飛行第八十五戦隊ヲ以テ南集結部附近ニ於テ上空ヲ
制シ來襲セル敵機ヲ撃退スルト共ニ飛行第四十四戦隊ノ一部ヲ以
テ「定」正部隊ノ戦團ニ直協シ指揮連絡搜索等ニ任ジアリ

(終)